



登録デバイスの概要

- [デバイスの登録について, 1 ページ](#)
- [デバイスの登録, 1 ページ](#)

デバイスの登録について

この項では、新しいエンドポイント デバイスの登録、エンドポイント デバイスとゲートウェイ デバイス用のプロキシ TFTP サーバの設定で実行する作業について説明します。

新しい電話機を手動で登録するか、または自動登録を使用することを選択できます。100 台を超える電話機を登録するには、一括管理ツール (BAT) を使用します。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド*』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>) を参照してください。



-
- (注) BAT を使用して新しい設定を作成することはできませんが、BAT を使用して電話機を登録する場合は電話パラメータを設定できます。デバイス プール、ロケーション、コーリング サービススペース、ボタン テンプレート、ソフトキー テンプレートなどの電話の設定が、Cisco Unified CM の管理を使用して設定済みであることを確認します。
-

デバイスの登録

次のタスク フローを実行すると、システムのデバイスを登録できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	TFTP サーバの設定タスク フロー	ネットワークのエンドポイントの設定ファイルを提供するプロキシ Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバを設定します。
ステップ 2	デバイスのデフォルトの更 新タスク フロー	(任意) 登録時にエンドポイントに適用された、デバイスロー ド、デバイスプール、電話ボタンテンプレートの各 値を変更します。
ステップ 3	自動登録の設定タスク フ ロー	ネットワークの自動登録を有効にします。デバイス がネットワークに自動で登録されることを許可する こと自体にセキュリティリスクがあるので、新しい エンドポイントが登録でき次第、自動登録を無効に することをお勧めします。
ステップ 4	手動によるデバイス登録タ スク フロー	手動で IP フォンを登録し、新しいディレクトリ番号 を割り当てます。
ステップ 5	セルフプロビジョニングの 設定タスク フロー	これはオプションです。エンドユーザが、管理者を 使わずに自社の電話機をプロビジョニングできるよ うにするのなら、セルフプロビジョニングを設定し ます。